

【アイデアスケッチを共有し、意見交流する】



アイデアスケッチの撮影

活用場面

個別学習

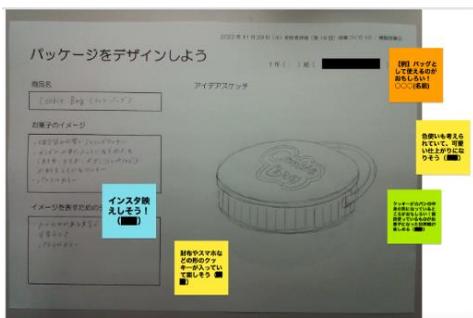
思考を深める学習

表現・制作

協働学習

発表や話し合い

協働での意見整理



Jamboardでの意見交流

活用した機器等

Chromebook

活用したアプリ等

カメラ機能

Google Classroom

Google Jamboard

学習のねらい

自分の好きなお菓子のパッケージのデザインについて、制作する段階で全員のアイデアスケッチを共有し、生徒間で意見を交流する。他者のアイデアスケッチの鑑賞を通して、発想や構想を広げるとともに、自分の作品制作へ活かす。

学習の流れ

導入 パッケージデザインの効果について学習し、実際に自分が好きなお菓子のパッケージデザインを考える。
そのデザインをスケッチにしたものをChromebookのカメラで撮影し、Google Jamboardを使ってクラス全体で共有する。

展開 Jamboard上で他者のアイデアスケッチを鑑賞し、付箋に意見を書き込むなどして交流を行う。
鑑賞活動で広げた構想を元に、アイデアスケッチを練り直し、パッケージ案を制作する。制作したパッケージデザインをハつ切画用紙に清書する。

まとめ 完成した他者の作品を改めて鑑賞する。題材を通して学んだことをワークシートにまとめる。

ココでICTを活用！

アイデアスケッチを鑑賞する際に、Chromebookを活用した。

まず、Chromebookのカメラ機能を用いて自分のアイデアスケッチを撮影し、Google Classroomに提出するようにさせた。その後、アイデアスケッチの写真をJamboardで共有し、各自のChromebookで鑑賞しながら、教員からアドバイスをもらったり、Jamboardの付箋を使って生徒間での意見交流を行ったりした。
完成作品も同様の方法で共有し、生徒間での鑑賞と意見交流を行った。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

Jamboardを用いてアイデアスケッチや完成作品の鑑賞活動を行うことで、展示準備などに時間をかけることなく生徒一人ひとりの端末で円滑に作品を鑑賞することができた。

さらに、Jamboard内の付箋機能を用い、すべての生徒が気軽に意見を伝えあうことで、発想や構想を広げ作品の完成度を高めることにつながった。